

令和元年

目黒区教育委員会

第34回定例会会議録

(令和元年9月24日開催)

第34回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和元年9月24日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	後藤 幸子
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	櫻井 道雄
	教育委員会委員	笹尾 敦夫

出席職員	教育次長	秋丸 俊彦
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校ICT課長	今村 茂範
	学校運営課長	濱下 正樹
	学校施設計画課長	鹿戸 健太
	教育指導課長	竹花 仁志
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	片山 順也
	生涯学習課長	千葉 富美子
	八雲中央図書館長	増田 武

書記		小野塚 幸隆
		森 高 健二郎

(議事日程)

日程第1	協議事項	目黒区立幼稚園条例施行規則の一部改正について
日程第2	協議事項	目黒区立こども園条例施行規則の一部改正について
日程第3	協議事項	目黒区情報公開・個人情報保護審議会への諮問について（区立小・中学校卒業証書の毛筆浄書委託に伴う個人情報の取扱いについて）
日程第4	報告事項	平成31年度児童・生徒体力・運動能力調査の結果について

資料配布

- ・令和元年11月行事予定
- ・令和元年度特別支援教育講演会「これからの特別支援教育と心のバリアフリー」

(午前9時00分開会)

- 教育長 令和元年第34回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、中山委員です。
- それでは、日程に入ります。日程第1と日程第2は関連しておりますので、一括して議題とします。

(日程第1 目黒区立幼稚園条例施行規則の一部改正について(協議事項))  
(日程第2 目黒区立こども園条例施行規則の一部改正について(協議事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 これら2つの件についてご質問等はございませんか。特にないようですのでこれら2つの協議を了承します。次に日程第3を議題とします。

(日程第3 目黒区情報公開・個人情報保護審議会への諮問について(区立小・中学校卒業証書の毛筆浄書委託に伴う個人情報の取扱いについて)(協議事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございませんか。
- 委員 卒業証書の毛筆浄書を委託することは、働き方改革にもなり、良いことだと思います。ただ、校長先生自身が毛筆で名入れをすることには、子どもへの思い入れもあるという話を聞いたことがあります。この委託は、校長会からの要望により行うものだと思いますが、委託を行うことについて、校長先生自身で行いたいという意見があったかお聞かせいただけますか。

- 説明員 委員がおっしゃるとおり、卒業証書への名入れは、校長先生がこれまで行っていましたので、自身でやりたいという意見もあります。ただ、校長会からの要望も受けましたので、卒業証書の毛筆浄書については、委託して行うという仕組みをつくりまして、相談があれば個別に調整してまいりたいと思っております。

- 委員 卒業生の名簿は各学校が作成すると記載されています。この名簿は電子データになると思うのですが、その取扱いについては、

ルールを定めているのでしょうか。

○説明員 電子データを用いませので、ルールは定めていません。委員のおっしゃるとおり、学校ではパソコン等を使って名簿を作成すると思いますが、この委託業務では、作成した名簿を紙に打ち出し、業者とはその紙でやりとりをします。

○委員 先ほど、卒業証書の暦を西暦と和暦で選択できるという説明をされました。選択できるということは、生徒の保護者から表記の希望が今までもあったということでしょうか。

○説明員 保護者の方からそういった希望があった場合、学校でその意向に沿った対応をしていたという話を聞いております。今回、委託することになりますので、そのような希望があった場合は、その意向に沿った形で卒業証書をつくるという対応をしてみたいと思っております。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの協議を了承します。  
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 平成31年度児童・生徒体力・運動能力調査の結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 昨年も、20mシャトルランとソフトボール投げが課題になっているという説明をされていたと記憶をしています。20mシャトルランとソフトボール投げはどのくらいの期間課題となっているのですか。

また、この課題を克服するため、体育の授業の改善などの取り組みをなさっていますか。

○説明員 20mシャトルランとソフトボール投げについては、ずっと以前から課題となっています。この2種目については、目黒区だけではなく、東京都でも課題となっております。20mシャトルランは、持久力を問うものになってございまして、都会の子どもたちには持久力を高める機会が少ないことが原因であり、ソフトボール投げについては、都会では大きな広場で野球などをする機会が少ないことが原因であると考えています。

この2種目については、以前から東京都でも目黒区でも課題と

なっているので、改善するための取り組みを行っています。例えば、目黒区では、持久力を鍛えるために、各学校でマラソン週間を設けたり、縄跳びを用いる運動を取り入れたりしております。ソフトボール投げについては、生徒が物を投げる経験が少ないことから、ソフトボール投げの体力テストの前に、投げ方について指導をして取り組ませています。

○委員      この体力・運動能力調査の結果については、全ての児童・生徒に結果の個人票を配ることになると思います。児童・生徒の成長を確認するためには、継続した形での個人票の管理が必要になると思いますが、学校では継続した形で個人票の管理を行っているのでしょうか。また、個人票を児童・生徒に渡すだけですと、児童・生徒が個人票を机の中にしまい込んで、保護者が確認できないという事例もあると聞いていますので、保護者の方が確認できるようにするためにも、学校でこの調査の結果を管理する必要があると思うのですが、いかがでしょうか。

○説明員      この調査結果の個人票につきましては、東京都で作成をして、全児童・生徒に配られるというものでございます。これを毎年配るため、児童・生徒の成長を継続して確認できるものとなっています。各学校では、それぞれの児童・生徒のデータを管理していますので、成長を継続して確認することができます。

今、ご指摘のありましたとおり、大事なことは、評価結果をもとに、体力向上のためにどのように取り組んでいくかということです。ですので、各学校では、この個人票を配付するだけでなく、それぞれの児童・生徒の能力に沿った形で体力を向上させるよう支援していくことが大事であると考えてございます。

○委員      ソフトボール投げやシャトルランについては、年配者の体力測定にも同じ項目があります。自分の体力がどう変化しているのかというデータは貴重なものだと思いますので、そのデータを残すため、管理を徹底していただきたいです。

それから、この調査結果の個人票を確実に保護者が見ていることを、学校も確認する必要があると思います。ほとんどの子の体力は、食事も影響すると思いますので、保護者を巻き込んだ形で取り組むよう工夫をしていただきたいです。これらは要望です。

○委員      都市部と地方で、都市部の方が持久力が弱くて瞬発力がよいと聞いたことがあります。都市部と地方では、授業の運動の内容に違いがあるのでしょうか。また、小学生、中学生の時期に、子

どもの成長にとって何が重要であると考えているのか、教えてください。

○説明員 都市部と地方との差の情報については、持ち合わせておりません。小学生、中学生の成長にとって重要な要素に関しては、個々の状況によって異なると思います。運動部に所属している児童・生徒については、その所属する運動部に合った力を高めていかなければならないと思います。運動部に所属せず、普段運動する機会のない児童・生徒については、運動する機会を確保していくことが大事であると思います。

東京都は、1日60分以上運動することが望ましいとしています。運動部に所属しない児童・生徒にとっては、その時間を確保することが難しいと思いますが、今回の調査結果をもとに、自分の習慣を振り返ってもらい、運動する習慣を身に付けさせることが大事であると思いますので、この調査結果を活用して、そのように意識づけをしていきたいと考えます。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。

資料配布

- ・令和元年11月行事予定
- ・令和元年度特別支援教育講演会「これからの特別支援教育と心のバリアフリー」

○教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前9時34分閉会)